

令和2年度第4回岐阜県地方独立行政法人評価委員会（県立看護大学関係）

－ 議 事 要 旨 －

- 1 日 時 令和3年2月22日（月） 13:00～13:50
- 2 場 所 Web会議（事務局：県庁7階 労働委員会室）
- 3 出席者
 - [委 員] 中島委員長、地守委員、富田委員、渡部委員
 - [専門委員] 青木専門委員、山岡専門委員
 - [法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）黒江理事長、土井理事兼事務局長
 - [設立団体]（岐阜県） 兼山健康福祉部長、堀健康福祉部次長
森医療福祉連携推進課長、若原看護対策監、竹内看護係長ほか
- 4 議事等
 - (1) 看護大学関係審議
 - [議題1] 公立大学法人岐阜県立看護大学の役員報酬等支給基準の変更について
 - (2) その他
 - [確認事項] 公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期目標の策定の方向性について
 - [報告事項] 公立大学法人岐阜県立看護大学における第3期中期目標・計画の策定及び、第2期中期目標期間・年度評価について
- 5 配布資料 次第、名簿、資料1-1、1-2、1-3、資料2-1、2-2、資料3
- 6 議事要旨

議事概要 県立看護大学関係

[審議事項：議題 1]

公立大学法人岐阜県立看護大学の役員報酬等支給基準の変更について

資料 1-1 及び 資料 1-2 に従い事務局から説明

質疑応答

なし

【中島委員長】

ご意見・ご質問がなければ、公立大学法人岐阜県立看護大学の役員報酬等支給基準の変更について、当委員会として意見書(案)のとおり知事に提出してよろしいか。

(異議なし)

【中島委員長】

異議なしということで、意見書(案)のとおり知事に提出することを決定した。

[確認事項]

公立大学法人岐阜県立看護大学の第3期中期目標の策定の方向性について

資料 2-1 及び 資料 2-2 に従い事務局から説明

質疑応答

【富田委員】

県内に残る看護師のパーセントをどうするかということで、前回 60%になったかと思うが、このパーセントは残すということで良いか。第2期中期目標期間中の県内就職率は約 53%だったということだが、次期中期目標にも数値目標を掲げるということで良いか。

【事務局 竹内看護係長】

県内就職率は残す。

【富田委員】

資料 2-1 の4ページの Web による学修について、ポストコロナを見越した自宅学修を含む幅広い学修方法であると思われ、昨年のコロナに伴い実施し、タブレットや装置等が必要だったと思うが、かなり整ってきている状況か。それとも、目標に対して十分でなく、今後整えていくのか。

【看護大学 黒江理事長】

まず数値目標について、大学としてはあまり望ましくないだろうと思っている。第2期中期目標の時も同様であったが、大学教育において学生が就職先を決めることは、基本的に学生自身の意思決定によるものであり、かつ就職を希望する医療機関の勤務条件や教育体制、医療機関を取り巻く生活環境など多様な要素が関与しているということを説明させていただいている。この点は、大学の努力のみならず他の要因からも大きな影響を受けており、岐阜県の保健・医療、岐阜県での生活等が学生にとって魅力的に感じられることが必要となる。それらを踏まえて、大学においては、第3期中期目標でも学生の意思決定を尊重するという理解でいる。また、岐阜県の保健・医療、岐阜県での生活等の魅力について、学生に伝えることは大学として努力しているところであり、これについて、これまで皆様の力添えをいただいております、今後も大いなる力添えをいただければと思う。

学修環境の整備について、今年度のコロナ禍における教育において、本学では一昨年前から大学院の教育を Web により充実できないかと試みを行ってきたが、その試みのうえで、大学院の設備等を活用しながら学部教育における Web 教育等を推進してきたところである。一年かけて必要最低限の設備等は揃えたつもりであるが、まだ学生の端末の準備ができていないなどの不足がある状況である。これらについては、今後も継続的に環境を整えていく必要があると思うが、経費をみながら整備していこうと思う。

【富田委員】

コロナにより実習ができなくなっている状況があると思うが、看護領域における実習に代わる教育方法・手段について、今後の方向性として考えられているものはあるか。

【中島委員長】

このことについて、私もぜひお聞かせいただきたい。

コロナのみならず、ロシアでの鳥インフルエンザが人に感染したのではないかというニュースも昨日あったが、これから大学において感染対策・危機管理対策を行っていかねばならず、特に人と接する看護・医学科は非常に大変になってくるものと思われるが、その視点がこの目標の項目のみでは読み取れないので、ぜひ聞かせていただきたい。

【看護大学 黒江理事長】

実習について、令和2年度の本学の実習は4月から夏にかけて行われ、4・5・6月は、実施がきわめて難しい状況だったが、その間に学内演習を含めた実技の充実を図ることに取り組んだ。以前にも、学内での演習を充実させることについては、着実に実績を重ねてきたところではあるが、実習に代わるものとして、モデル人形が不足している状況である。今までは学生同士で行えたところ、コロナ禍では学生同士による演習が難しく、また、時間や担当教員の関係で調整が厳しい状況であったが、なんとか調整のうえ従来のモデル人形を使いながら演習を行ってきた。しかし、これから先を考えると、モデル人形もまだまだ少ないため、基礎的な技術を熟練するためのモデル人形、その先の専門性の高い技術を充実させるためのモデル人形、それに付随するコンピューター機器・CP 機器等を充実させていかなければいけない状況である。

ただし、今年度の実習においては、夏頃に実習施設と非常に細やかな調整をさせていただき、学生が実習に行き学ぶことができた。岐阜県の施設の皆様においては、大変お世話になりました。

【青木委員】

資料 2-1 の 5 ページにおける外部諸機関との効果的な連携については、今後もぜひ力を入れていただきたいと思う。実習に関して密な話し合いが行われたように、県内の就職率についても、臨床施設の管理者との連携・調整により、地域の住みやすさのみならず働きやすさを向上させるための工夫をお互いができるのではないかと思う。

【中島委員長】

3 点質問させていただきたい。

1 つ目は、若手教員の能力開発とあるが、具体的にどのようなことを考えられているのか。

2 つ目は、コンプライアンス、人権・倫理について、コンプライアンスは削除してもいいのではないかと考えているが、そこを適切にできるか。例えば、岐阜大学医学部では、どちらも e-ラーニングのシステムを取り入れ、必ず全員が受講しないといけないということになっているのだが、コンプライアンスや倫理について、どのように達成していくのか。

3 つ目は、看護大学とは直接関係ないことかもしれないが、看護師養成ということで岐阜県は元の県病院がある長森、下呂、多治見に看護専門学校を設置しているが、そことの連携をどうされるのか。実は、私は下呂看護専門学校に 23 年非常勤講師として行っており、看護学科の別の教員も衛生専門学校に行っているが、なぜ県立看護大学があるのに岐阜大学から行かなければならないのかという意見もある。県全体の看護師のレベルを上げていくということであれば、看護専門学校等の教育も看護大学が中心となりやったほうがいいのではないかと思っており、第 3 期中期目標とは少し別なことかもしれないが、お考えをお聞かせいただきたい。

【看護大学 黒江理事長】

中期目標に関しては、本学が県から指示を受けるという形なので、これに関して具体的にとなると、中期計画でということになる。中期計画において、本学の取組み・計画が示されると考えており、本学がこの先どのように取り組んでいこうと検討しているかという点でお答えさせていただく。

1 つ目の、若手教員の能力開発について、本学の学生は、看護師の国家試験免許資格の土台、保健師の国家試験免許資格の土台、その両方を取得する学生であるが、人々の健康の増進（ヘルスプロモーション）からターミナルのケアまで幅広い知識が付与される必要がある。そのような側面から、若手教員は、どのような臨地で実践した教員であっても、学生が幅の広い感覚・知識・技術を獲得できるような教育を行える教員になる必要がある。そのために可能であれば、経費がかかるが、国内の他大学でどのような教育をしているのか、それから世界における看護系の大学でどのような教育をしているのか、教員自身のケアの専門性というよりも看護系の教育の在り方というところで知見を広めることができると考えている。

2 つ目は、特に研究倫理のことをご指摘いただいたかと思うが、これについては、科研費の申請の際には、倫理プログラムを進めていなければいけないという条件があるため、大学が作成した倫理プログラムを修了し、修了した旨の届出を受け認定している状況である。これについても、継続、一層の発展を考えることはできると思っている。

3 つ目の、以前の県病院だが、県病院における実習でもお世話になっており、県全体の保健・医療・福祉施設との協働もこれから先考えていきたいと思っている。専門学校の話も出たが、本学の大学院等については、多方面から県内の看護職に来ていただきたいと思っており、その広報もしている。何か特定の科目を学びたい、もしくは大学院でさらに看護を深めたいという先生方

がいれば、ぜひ本学の大学院を受講していただければと思っている。そのような点で、多様な形でサポートができると思っている。

[報告事項]

公立大学法人岐阜県立看護大学における第3期中期目標・計画の策定及び、第2期中期目標期間・年度評価について

資料3 に従い事務局から説明

以 上（終了時刻 13：50）